

付属推薦・指定校推薦出願状況

高3生は基礎学力到達度テストの結果が出たと同時に、出願先も決定している状況です。現時点での付属推薦の出願状況をまとめました。

今年度の基礎学力到達度テストの結果を受けて、各受験生が自分の希望する学科に出願しますが、付属特別選抜については校内での成績をもとに校内選考を経て選抜されました。また基礎学力選抜については、志望学科選定の際の判断材料として各学科における過去の最低通過順位を参考にしました。その結果、大学における選考に当たる「セレクション」を経て、以下の表のような通過者の数となっています。今年度は近年と比較して、商学部の出願者が減り、生産工学部の出願者が増えたと言えるでしょう。

今後は出願と試験になりますので、次号で合格速報をします。



＜日本大学への出願状況＞

	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願	合計
法学部	24	16	0	40
法学部二部	5	10	0	15
文理学部	27	2	—	29
経済学部	26	23	0	49
商学部	8	9	0	17
芸術学部	7	7	—	14
国際関係学部	2	2	0	4
危機管理学部	6	1	—	7
スポーツ科学部	0	3	—	3
理工学部	44	46	0	90
生産工学部	14	18	0	32
工学部	0	2	1	3
医学部	0	—	—	0
歯学部	0	—	—	0
松戸歯学部	1	0	—	1
生物資源科学部	30	11	0	41
薬学部	1	—	0	1
短大(三島)	0	1	—	1
短大(船橋)	3	1	—	4
合計	198	152	1	351

各学部的人数で「0」は出願者がいないことを表し、「—」は学部がその方式を採用していないことを表しています。



＜指定校出願校＞

北里大学・学習院大学・上智大学・中央大学・東京薬科大学
東京理科大学・法政大学・明治大学・立教大学・麻布大学
芝浦工業大学・明治学院大学・東京経済大学・東京国際大学
拓殖大学・人間科学総合大学・東京電機大学・城西大学
東京農業大学・千葉工業大学・文京学院大学・湘南工科大学等

指定校についても出願が順次決定しています。指定校については校内での成績をもとに、希望者の中で校内選考が行われました。今年度は99名の希望に対して70名が通過しました。また、指定校推薦は進学クラスや体育クラスのみならず特進クラスも希望できるので、難関大学には特進クラスの生徒が通過しているケースが多かったです。

指定校推薦というのは、各大学の判断で本校に推薦枠をして頂いているものですので、校内選考を通過した生徒はこれまでの先輩と同じかそれ以上の頑張りを期待します。

今後は、10月の下旬から11月上旬にかけて出願が行われ、その後各大学での選考を経て合否が決定する予定です。

【屋嘉比】

指定校推薦について

本校は非常に多くの大学・短期大学・専門学校等から指定校推薦をいただいております。今年度の高校3年生は、現在のところ70名がその指定校推薦を使い、進学先を決めようとしています。そんな「身近な存在」ともいえる指定校推薦ですが、注意すべき点もあります。思わぬところでつまづかないように、高校3年生以外の人でも下記の点を把握しておきましょう。



1. 出願条件に達していなかった。

ほぼすべての大学等は、指定校推薦の出願条件に「評定平均値」を挙げています。ただし、それだけではない大学も多いです。「出席日数」や「資格取得（特に英検が多い！）」、変わったところでは「オープンキャンパスに参加した」「英語に関する資格を受験したことがある」などの条件も。同じ大学・学部であっても基準が違ったりとあり、慎重に確認する必要があります。条件に達していないのに出願しても、当然合格することはできません。



2. 必ず合格するわけではない！ & 枠がなくなることがある。

指定校推薦は高校と大学との信頼関係で行われるものです。原則として不合格になることはほとんどありませんが、100%合格ではないのも事実です。対策はしっかりと行いましょう。また、指定校推薦で進学した場合、その人の大学での学習態度等が悪いと、来年度からの指定校推薦の枠がなくなってしまうことがあります。後輩のためにも責任を持った学校生活を送ってください。

【金久保】

調査書について知っておこう

調査書について皆さんはどれくらい知っていますか。大学受験の際に必ず必要となる書類であることは知っているでしょうか。今回は調査書の内容について説明します。

調査書には以下のことが書かれています。



- ① 名前、住所、学校名、入学年月、卒業(卒業見込)年月
- ② 各教科・科目の評定、修得単位数
- ③ 各教科の評定平均値、全体の評定平均値
- ④ 学習成績概評(学年に学習成績がA, B, C, D, E段階の者が何人ずついるかが説明されている)
- ⑤ 総合的な学習の時間の内容・評価
- ⑥ 特別活動の記録(クラスでの係、生徒会活動、部活動等について記載されている)
- ⑦ 指導上参考となる諸事項(学習における特徴、行動の特徴や特技、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰等が学年ごとに書かれている)
- ⑧ 備考(その他特記すべきことがある場合に記載される)
- ⑨ 出欠の記録(欠席日数やその理由が記載されている)

調査書は上述の内容が書かれていますので、生徒の高校3年間の学業成績はもちろん、その生徒がどのような人物で、在学中に何を頑張ってきたか等もこの書類で全てわかるようになっています。裏を返せば、頑張ったことは全て記載されますので、充実した高校生活を送りたいですね。また、こんなに多くの情報が記載されている書類です。担任の先生方は作成するのに大変な時間と労力をかけています。加えて、担任の先生が一人で作成できるものではなく、校長先生の印が押され、厳封を必要とする正式な書類です。間違っても「先生、明日までに調査書もらえますか〜？」などと担任の先生に気軽に言うことのないようにしましょう。



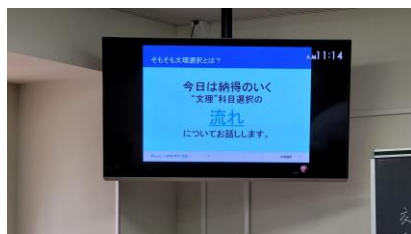
【亀谷】

高1コース別ガイダンス報告

9月21日(火)より、ロイノートで「高1対象 コース別ガイダンス」の講演動画を配信しました。先月号でもお知らせしましたが、本来であれば、高1全員が各教室のモニターで講演を受ける予定でしたが、分散登校となったことによって、講演動画を配信して生徒の皆さんに視聴してもらうという形を取りました。

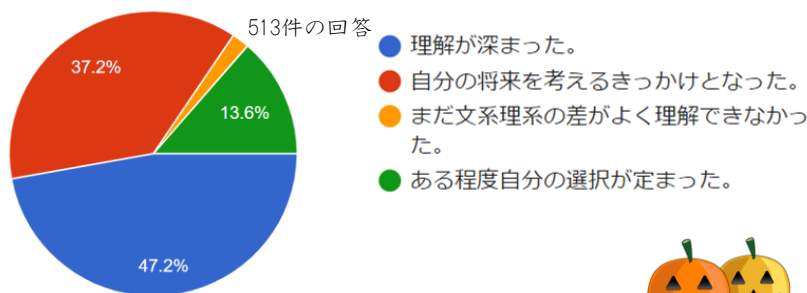
動画は、株式会社リクルートの吉岡亮様に作成していただいたものになります。内容としては、「文理・科目選択の3つのポイント」や、「誰もがやってしまいそうなNG事例」などを示してもらうものでした。講演の中でもありましたが、やはり文系理系選択をするうえで重要なのは、「将来やりたいことを意識して文系理系選択をする」ということです。「数学が嫌いだから文系に進もう」や「仲のいい友達が文系に進むから自分も文系にしよう」というような選び方は、受験時のモチベーションが上がりにくい傾向があります。「文系理系選択をすること」＝「自分の将来を本気で考えること」という意識で最終的な判断をしてもらえればと思います。

生徒の皆さんは、今回の講演をきっかけにして、将来を真剣に考え、将来の自分に期待できるような文系理系選択をしましょう。

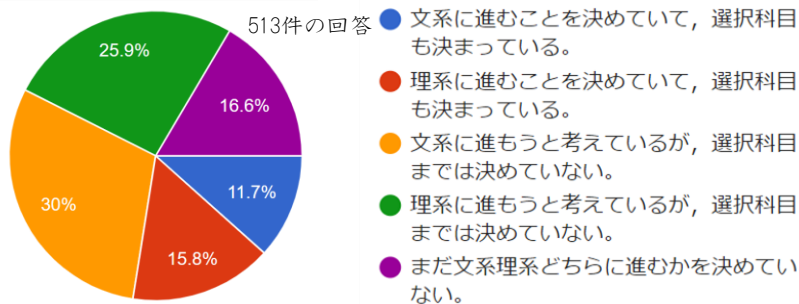


さて、今回の講演について生徒の皆さん(G組以外)にアンケートを取りました。結果は以下の通りです。

◆ 視聴した感想を聞かせてください。最もあてはまるものを1つ選んでください。



◆ 現時点での文系理系選択について聞かせてください。



上記の結果を見てみると「視聴した感想」では50%近くの生徒が「理解が深まった」と回答してくれました。それ以外でも「自分の将来を考えるきっかけとなった」という意見も40%近くを占めており、今回の講演を機に、将来を考えてもらえればと思っています。考えを深めていく中で、自分ひとりではわからないことや不安になることもでてくるかと思うので、その際には家族や教員にも相談してみてください。最終的には自分が決めることではありますが、自分の家族が得た社会経験を聞いたり、先生方に進路相談をしてみたりすると新たな知見が広がることもありますので、どんどん相談してみましょう。

また、文系理系選択の割合ですが、現時点で選択科目まで決めている生徒の割合を見てみると、「文系」が11.7%、「理系」が15.8%と理系進学を考えている生徒の方が選択科目までしっかり決まっている割合が多かったようです。それは「選択科目は決まっていなくても、何となく文系の方がいいかな」と思っている生徒が多いということかもしれません。まずは、しっかりと将来のことを考えながら文系理系選択できるようにしましょう。



【福田】



行動特性と再現性 高3 オンライン面接指導講演会

高3生は推薦受験をする生徒が多いので、面接がほとんどの場合で必須になります。また、文部科学省からの通達で、全ての大学において口頭試問を課すことになりました。さらに多くの大学の個別試験においても、コロナ禍の状況を鑑みて記述試験から口頭試問や面接に変更する動きが見られます。

このようにますます面接の重要性が増しているため、(株)学研教育みらいから尾川直子様をお招きして面接指導講演会の事前撮影を行いました。現在高3生は自分の進路に合わせた動画をGoogle Classroomで視聴できるようになっています。



この動画の中では、面接会場への入退室、文系の面接内容、理系の面接内容、スポーツの面接内容のように進路に合わせて対策ができるようになっています。

ご指導の中で、面接官は受験生を「行動特性」と「再現性」という観点で見ているということでした。面接の様々な質問の中で、過去にどのような困難に遭遇し、どのように克服してきたか(行動特性)、そして大学に入学後、さらに将来社会人としてどのように活躍できそうかということ(再現性)を見ているということです。

面接では皆さんの専門性について突っ込まれるのは当然ですが、皆さんの過去、現在のみならず、未来も見られているという意識を持ってください。



【屋嘉比】

11月の進路行事

11月13日(土)～23日(火) 各学部付属推薦選考日(高3)
12月2日(木) 追加募集実施学部学科発表(高3)
12月7日(火) 追加募集セクション申告届提出(高3)
12月8日(水) 追加募集セクション結果発表(高3)
12月10日(金) 追加募集出願期日(高3)



月

日

()

日直

日直

高3の付属推薦は、学部や方式によっては書類選考だけの場合がありますが、原則として面接、学部によっては小論文や実技となります。下表に日程を掲載しておきますので、十分な準備をして臨んでください。

学部	選考日	合格発表	手続締切	学部	選考日	合格発表	手続締切
法	11/21	12/1	12/17	理工	11/20	12/1	12/15
文理	11/20	12/1	12/8	短大(船橋)	11/13	12/1	12/16
経済	11/21	12/1	12/15	生産工	11/21	12/1	12/13
商	11/20	12/1	12/15	工	11/20	12/1	12/20
芸術	11/23	12/1	12/15	医	11/13	12/1	12/8
国際関係	11/20	12/1	12/14	歯	11/20	12/1	12/9
短大(三島)	11/20	12/1	12/14	松戸歯	11/20	12/1	12/8
危機管理	11/21	12/1	12/15	生物資源科	11/20	12/1	12/10
スポーツ科	11/21	12/1	12/15	薬	11/20	12/1	12/8

◆追加募集(ここ3年間は実施されていません)

学部	募集発表	エントリー締切	結果発表	出願期日	選考日	合格発表	手続締切
法					12/14	12/18	1/7
法・第二部					12/14	12/18	1/7
文理					12/15	12/21	1/13
経済					—	12/21	1/11
商	12/2	12/7	12/8	12/10	12/11	12/20	1/12
国際関係					—	12/20	1/11
理工					12/19	12/21	1/13
短大(三島)					—	12/20	1/11
短大(船橋)					12/18	12/22	1/13



【伊藤秀】

次回12月号は、11月29日(月)発行予定です